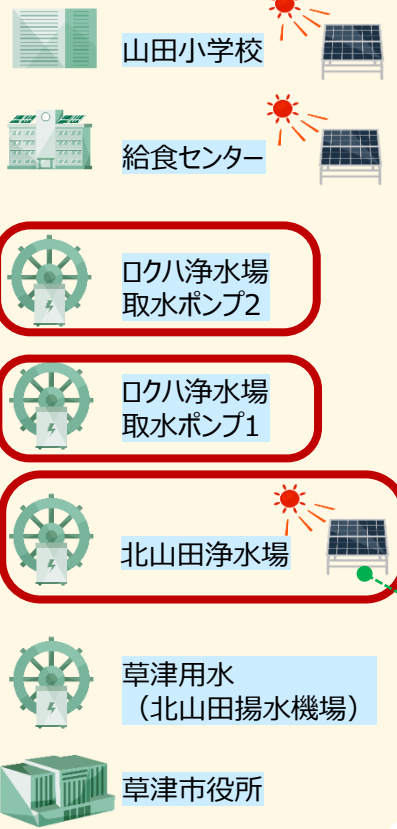


脱炭素先行地域への応募について

脱炭素先行地域とは・・・

2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門の電力消費に伴うCO2排出量の実質ゼロを実現する地域で、「実行の脱炭素ドミノ」のモデルとなる地域です。先般、草津市は環境省の「脱炭素先行地域づくり事業」に応募したところであり、その中の「農業エリア周辺での営農型太陽光発電及びPPA事業」において、**浄水施設を電力需要家群として位置付けています。**

需要家群



受電

送電

オフサイトPPA

オンサイトPPA (自家消費)

電力小売事業者
関電送配電
関電など

電力小売事業者
関電送配電
関電など

送配電事業者
関電送配電

送配電事業者
関電送配電

送配電事業者
関電送配電

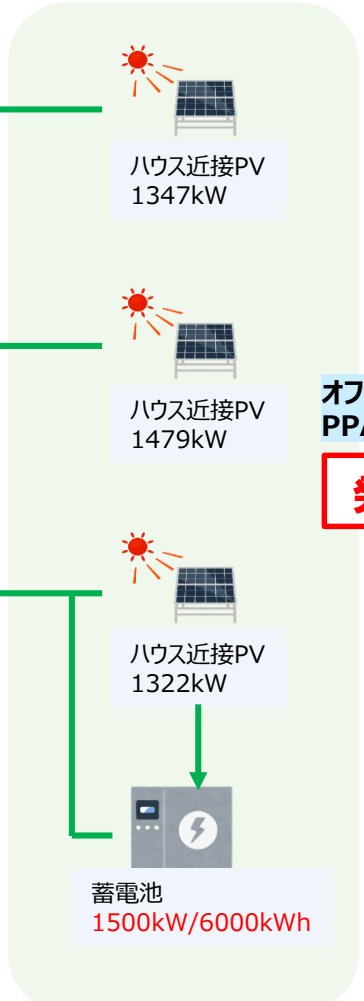
オフサイトPPA事業者
発電

部分供給 (電力の安定供給を保證。オフサイトPPAで不足する電力を既存電力事業者から供給)

水道事業 (浄水施設) への影響について

- (メリット) 浄水施設の電力由来のCO2がゼロになることで、環境に配慮した事業運営につながる。
- (デメリット) 既存の電力事業者から購入する場合に比べ、電気料金が割高となる可能性がある。

需要家群が使用する電力を再生可能エネルギーに置き換える



北山田・下笠地先のハウス団地周辺に太陽光発電設備を設置